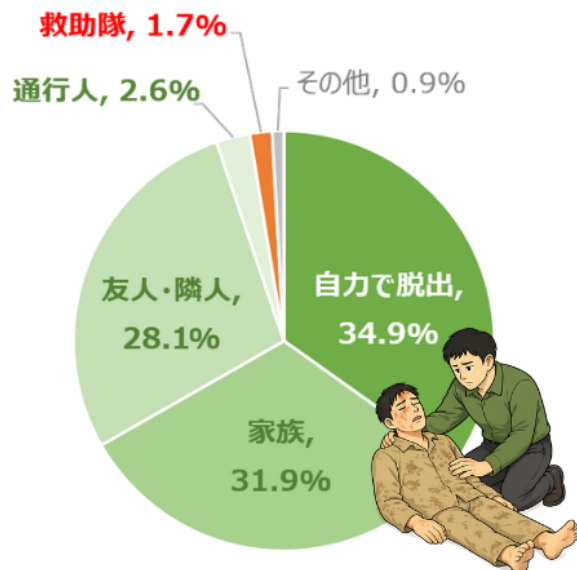


小垣江防災通信 第3回 安否確認の大切さ

毎年9月に行われる安否確認訓練。「やる意味なんてあるのか？」と思っていませんか？

● 公共機関には、つながりません！

南海トラフ地震など大災害発生時は、警察や消防などの**公共機関に通報しても、救助が期待できません**。なぜなら、公共機関の職員さんも、我々と同じ地域に住む”被災者”だからです。



出典：内閣府「平成26年度版防災白書」より作図

● 一刻を争う安否確認

発災時は、白布確認隊員が各戸の安否確認に回ります。白布掲示されていると、外から一目で無事と分かり、より早く多くの人の安否を確認できます。



● 誰に助けられたか？

左のグラフは、阪神淡路大震災において調査した結果です。救助隊に助けられた人は2%以下。頼るべきは、**近所の力（近助）**です。

次回 R8年9月6日の訓練より、実施方法を若干変更します。
詳しい実施方法は、7月中に役員向けに説明します。

安否確認方法
はこちら ➡

